

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】平成 17 年 11 月 4 日 (2005.11.4)

【公開番号】特開 2000-60878 (P2000-60878A)
【公開日】平成 12 年 2 月 29 日 (2000.2.29)
【出願番号】特願 平 10-237262
【国際特許分類第 7 版】
A 6 1 C 19/04
【F I】
A 6 1 C 19/04 A

【手続補正書】
【提出日】平成 17 年 8 月 24 日 (2005.8.24)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項 1】

口腔内に口腔電極を配置し、根管内に測定電極を挿入し、前記測定電極と口腔電極との間に交流信号を与えて、前記測定電極が根尖位置に達したときに得られる測定信号の値に応じて根尖位置を検出する根尖検出装置において、

前記測定電極と口腔電極との間に第 1 の周波数の信号を与えて第 1 の測定信号を得る第 1 の測定手段と、

前記測定電極と口腔電極との間に第 2 の周波数の信号を与えて第 2 の測定信号を得る第 2 の測定手段と、

前記第 1 の測定手段で得られた第 1 の測定信号と前記第 2 の測定手段で得られた第 2 の測定信号とを用いて対数変換した演算値を求める演算手段と、

前記第 1 の測定信号と前記演算値の加算又は減算により根尖位置検知信号を得る位置信号形成手段とを具備したことを特徴とする根尖位置検出装置。

【請求項 2】

前記第 1 及び第 2 の測定信号は、電流値を示す信号であることを特徴とする請求項 1 記載の根尖位置検出装置。

【請求項 3】

前記第 1 の周波数は、500 Hz 近傍であり、第 2 の周波数は 2000 Hz 近傍であることを特徴とする請求項 1 記載の根尖位置検出装置。

【請求項 4】

前記第 1 の周波数と第 2 の周波数とは、ほぼ 4 倍の周波数関係にあることを特徴とする請求項 1 記載の根尖位置検出装置。

【請求項 5】

前記第 1 の周波数と第 2 の周波数とは、前記口腔電極と測定電極との間に形成される等価回路の周波数特性のほぼリニアな範囲の 2 点の周波数が選定されていることを特徴とする請求項 1 記載の根尖位置検出装置。